



いいで

学校便り 第10号

喜多方市立山都小学校

平成28年10月20日(木)
文責 校長 菊地 誠

校長講話 ノーベル賞の話をしました。

10月18日の全校集会では、ノーベル賞の話をしました。ノーベル賞ができた訳や、今年のノーベル医学・生理学賞を受賞した大隅良典さんの話を紹介しました。

10月3日に、日本人の大隅良典さんがノーベル賞を受賞したというニュースがありました皆さん知っていますか？ノーベル賞は世界で最高の賞だと言われています。日本人が受賞したのは3年連続ですが、1901年にノーベル賞が作られてから、日本人は25人しか受賞していません。ノーベル賞を作ったのは、スウェーデンの科学者のアルフレッド・ノーベルという人です。ノーベルは、今から150年位前に、ダイナマイトという爆薬を発明しました。ダイナマイトができたおかげで、道路や鉄道を造る仕事が簡単にできるようになりました。今まで人の手で何か月もかかって手で土を掘っていたものが、ダイナマイトで一瞬で爆破させる事ができます。ノーベルはダイナマイトによって、人々の生活がもっと良くなり、幸せになると思いました。

ダイナマイトは世界中で使われ、ノーベルは大金持ちになりました。しかし困った事が起きました。戦争が始まるとダイナマイトは爆弾として人殺しの道具に使われるようになりました。人々の幸せのために発明したダイナマイトなのに戦争の道具として使われ、たくさんの人々が死んでいきました。ノーベルは深く悲しみました。そこで、自分が死んだら、ダイナマイトでもうけた財産を使って「人々の平和や科学の進歩のために尽くした人に賞金を贈ってほしい」という遺言を残しました。それがノーベル賞になりました。

今年、日本でノーベル賞を受賞した大隅良典さんは、長い間の「オートファジー」の研究で、ノーベル医学・生理学賞を受賞しました。その、大隅さんがインタビューで次のように答えています。

「人がやらない事をやるのは勇気がいる事かもしれませんが、でも、新しい事を見つけるには、人がやらない事を地道にやるしかありません。」

また、「子どもたちにメッセージをお願いします。」という質問には、「あれ？と思う事が世の中にはたくさんあって、そういう気づきを大事にして欲しい。みんな分かったような気分になっているけど、何も分からないことが世の中にはたくさんあります。なんで？ということをお大事にする子供が増えたら、日本の将来も大丈夫だと思います。」

新しい事を見つけるには、「あれ？」「なんで？」という気づきを大事にして、人のやらない事をこつこつとやるという事が大切なんですね。みなさんも「あれ？」「なんで？」という気持ちをもつもって勉強に取り組んでほしいと思います。今日は、ノーベル賞のお話をしました。

「スポーツの秋」校内マラソン大会が行われました。

10月11日(火)、朝の雨で実施が心配されましたが、予定通り校内マラソン大会が行われました。普段の練習の成果を発揮すべく、自己ベストを目指してみんながんばりました。校内新記録が2つ誕生しました。各学年の1位は次の通りです。

1年男子	R. I	4年男子	Y. T
1年女子	M. S(新)	4年女子	K. T
2年男子	K. H	5年男子	W. K(新)
2年女子	N. S	5年女子	N. O
3年男子	Y. S	6年男子	K. S
3年女子	H. S	6年女子	H. T

